



電子処方箋への対応、 地域への導入推進に向けて

• 当院は、^{はくさんし}白山市、^{のいちし}野々市市、^{かわきたまち}川北町の2市1町が構成する医療人口17万人の基幹病院であり、地域医療支援病院の指定を受けています。院内-院外の情報共有の迅速化、医療安全や業務効率の向上を目指して、継続的に医療DXに取り組んできました。

• 今般、病院向けに最適化した「電子処方箋」の運用形態であるHPKIカードレスの「HPKIセカンド電子証明」を厚生労働省と共に検討し、その導入に踏切りました。

• 電子処方箋最大の効果効果は、処方箋作成時に併用禁忌薬や重複投薬のチェックがかかることです。複数の医療機関から投薬されていても、瞬時に確認できるため、飛躍的に安全性が高まります。

• このチェック機能は、面展開で地域の病院、診療所、薬局が電子処方箋を導入し、処方情報が共有されて初めて真価を発揮する仕組みです。当院がまず率先して導入することで、1つでも多くの医療機関・薬局が参加できるように呼び掛けをして、電子処方箋の普及に努めます。



白山石川医療企業団

公立松任石川中央病院

Public Central Hospital of Matto Ishikawa

地域医療支援病院／災害拠点病院

年	月	松任中央病院の医療DXの取組
1996年	4月	オーダリングシステムを導入
2004年	10月	電子カルテシステムを導入
2006年	4月	当院独自の電子地域連携システム「まっとう連携くん、ねっとPET」を開発・稼働
2013年	12月	石川県全県下を結ぶ電子連携システム（いしかわ診療情報共有ネットワーク）を当院から始動
2016年	10月	当院独自のWebによる画像・検査予約システムを稼働
2019年	4月	患者さま向けスマートフォンサービス（PHRアプリ）稼働
2019年	11月	PHRアプリ機能強化（WEBチェックイン、待ち順番表示）
2000年	9月	AI問診システムを導入
2021年	1月	PHRアプリ機能強化（医療費クレジットカード後払い、処方箋送信）
2021年	10月	厚生労働省「オンライン資格確認」を導入
2023年	6月	PHRアプリの機能強化（医療費後払い強化、調剤完了通知）

公立松任中央病院のスマート受診サービス

-スマホPHRアプリ-

スマートフォンによる優先受付

